

渋谷でマナブ

第 10 号
発行 2019年10月

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-10-7
五島育英会ビル1階
TEL : 03-5428-3011
<https://www.sc.uoj.ac.jp/center/shibuya/>

巻頭言

フランス国王ルイ14世の名前が付いた高等学校

東京渋谷学習センター 所長 宮本文人



フランスでは、日本の高等学校に相当する学校をリセと言います。リセ ルイ・ル・グラン (Lycée Louis-le-Grand) は、創立が1563年で、ルイ14世の名前が付いた学校です。有名な卒業生をみると、例えば、政治ではフランス大統領ポンピドー、シラク、文学ではモリエール、ヴィクトル・ユージ、ロマン・ロラン、哲学ではメルロ・ポンティ、サルトル、絵画ではボルナール、ドガ、ドラクロワ、数学ではガロワがいます。専門性が高い自然科学や社会科学の学術分野も含め、様々な分野において歴史的に有名な人物を数多く輩出してきました。数多いリセの中で、評価が最も高い有名な学校です。

この学校は、パリのカルチュ・ラタン (Quartier latin) と呼ばれる、パリ大学やグランゼコール (Grandes Écoles) 等の多くの学校が集まる地区の中心にあります。ノートルダム大聖堂からもすぐ近くです。この学校は、公立で授業料は無償です。生徒は、リセが3学年900人、これに接続するグランゼコール準備学級 (classes préparatoires) が2学年900人の構成になっています。

この準備学級は、リセを卒業した後、グランゼコールを目指す生徒の教育を担っています。フランスは、他の欧米諸国とは異なり、高等教育機関が二重構造になっており、通常の大学とは別にグランゼコールがあります。グランゼコールは、少数精鋭の教育により国の幹部職員を含むエリートを育成する特別な専門職業教育機関で、技術、商業、政治等の専門分野毎に学校があります。

リセにおける教室での授業は、伝統的な形式で少人数教育が行われ、教室の机配置は日本と似ています。しかし、リセの卒業資格試験であるバカロレア (Baccalauréat) には哲学の試験がありますし、バカロレアやグランゼコールの入学試験は論述問題ですので、日本の大学入試とは全く違います。高等学校の授業は、卒業資格試験や入学試験のあり方に影響を受けると考えると、形式は似ていても、教え方や授業の進め方等は日本とはかなり異なると思われます。

教育や教育制度を見る限り、フランスは、英米に影響されることなく、独自の姿勢を貫いています。背景には、近代から現代の西洋文明において中心的役割を担ってきたという自信と誇りがあると感じられます。

※ガロワは、1811年20歳の時に決闘で亡くなりましたが、現代数学に大きな影響を及ぼしました。



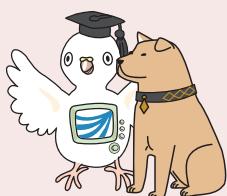
校舎 (Charles Justin Le Cœur 設計)



中庭 (Cour Victor Hugo)



授業風景



目次

巻頭言「フランス国王ルイ14世の名前が付いた高等学校」	1
東京渋谷学習センター所長 宮本文人	
コラム	
「『文学』の喜びについて考えること」 村松真理子	2
「精神医学からみるこころの可能性」 安宅勝弘	3
東京渋谷学習センター 第2学期予定表	4
“学生アイテム”を活用しよう	5
面接授業科目の追加登録について	6

「文学」の喜びについて考えること

村松真理子

客員教授（東京大学教授）



私はイタリア語で書かれた「文学」とことばが専門です。7月には246セミナーで「イタリアのことば、イタリアのまち」と題した講義をさせていただき、定員いっぱいの方の来聴者のみなさんが熱心に聞いてくださいました。「文学」が大学やさまざまな場で「危機」にさらされている中、大変うれいしいことでした。放送科目「初歩のイタリア語（17）」受講生で渋谷の会場に足をお運びくださった方も多く、講師として実際に顔をお合わせできるたのしい機会ともなりました。

当日、イタリアの町がそれぞれ異なる道歩み、独特の文化を育んできた中世末期からの歴史的背景と、地方・町ごとで話されることばが方言的要素を保ち続けてきたことをまずお話ししました。全ヨーロッパ的ラテン語文化の上に、いかに「ネーション」的イタリア（語）が成立していったか…「イタリア」というアイデンティティーが形成されていく過程で、詩人たちの「文学」が果たした役割について考えました。ルネサンス期のイタリア半島の大変動期、統一が目指される19世紀リソルジメント期等、歴史の大きな節目ごとに中世末のダンテの詩があらためて読みなおされ、現代詩の前身性にも生き続けていることをお伝えしたつもりです。ダンテの詩は、書き言葉として冷凍保存が可能で、解凍されては新しい調理法がためされ極上のご馳走がそのたびごとに生まれてきた…それとも大地に育まれ続ける永遠の黄金食材か…

さて、「文学」が大学での研究分野や講座として王道で、「教養」の一環としてもクラシックだった時代はおわったのでしょうか？「人文学」の肩身は狭くなり、「実学」といわれてきた社会にすぐに「役に立つ」あるいは経済的な生産に結びつくものを「実践的に身につける」ことを求める風潮が強くなりました。もうすでに「文学」の

看板をおろし、「コミュニケーション」や「文化」にかけかえた学部も多くあるようです。その上、ノーベル文学賞は審査委員会のスキャンダルで受賞者なしという事態…ボブ・デュランの受賞に代表されるように、かつての「文学」の確固としたイメージ自体が揺らいでいます。

そもそも「物語」「小説」「詩」などの文学「テキスト」とは何なのか、読み解釈するとは何を意味するのか…そのような問いが知的かつ思想的な行為として刺激的な爽りをあげたのは1960年代・70年代、世界で「常識」や社会の枠組み自体が問い直された時代で、テキスト理論だけでなく、言語そのものを対象とする言語学やフィロロジが成果をあげました。

ダンテのことばの果たした役割を考えてみれば、「文学」やその思想を歴史や地域文化の中で理解し、私たち自身の未来への視野につなげる有効性が認められるでしょう。単一的な考え方に「他者」との関係までがのみこまれそうな現代、未来の社会や自分には見えない存在を想像する思考力をつけること…「文学」には「歴史」や「社会科学」とも異なる可能性があります。さまざまな人物が語り合い、一つの結論・正論に収束しないポリフォニーが構築されるのです。数百年の時間も空間もこえ、翻訳の助けで古典とふれあい、思考をとぎすまし、批評のことばを身に付けることもできます。メディアの変化を超え、連続と伝えられてきた言葉の大河に飛び込み、自分の感情を投入し語り合い共有することこそ、文学の喜びです。苦しみに晒される一人一人の暮らしから脱出し、世界の過去と未来を想うこともできる…文学に連なる技を磨き伝えることとは「役に立つ」幸福な仕事と感じるのですが、いかが思われますか？

精神医学からみる こころの可能性

安宅勝弘

客員教授（東京工業大学教授）



もともと精神医学には漠然と興味はあったが、実際にこれを専門に選ぶことになったのは学生時代に読んだ「人格の病」（島崎敏樹著）という本の影響が大きかったように思う。かなり専門的・学術的な内容を今思えば半分も理解できていなかったと思うが、インパクトのあるタイトル（この「人格」の語には、倫理的、価値判断的な意味合いはなく、主体～自我～自己の意味に近い）に惹かれ、背伸びをして読むと、そこにはこころの病の分析を通じ、なにか人間存在について深遠なことが書かれているように思えた。

その後働き始めてからしばらくは、この本のことを考える余裕はなかった（駆け出し研修医は目の前のことに手一杯で、検査や診断、薬・治療のことなど、実用実践的な知識の習得に追われていた）。2年間の研修も終わる頃、勉強会で別の専門書に関連して島崎敏樹の名前を目にし、本のことを思い出して再読してみた。同書は統合失調症（当時の呼称は精神分裂病）という病が病者の主観的体験からどのようにとらえられるか、哲学や心理学の理論も参照しながら論じているのだが、あらためてこれを読むと、修行中の精神科医でも直接聴く患者さんの話が理解しやすくなる気がした（病的体験を「理解できる」と軽々しく言うてはいけないのだが）。

さらに10年後、大学の保健管理センターで青年期の学生と日々会うようになり、またこの本のことを意識するようになった。

統合失調症は思春期～青年期に好発する精神疾患である。一方で、周囲の様子に敏感になり、自分／人間とは何か、他人からどう見られているのかを強く意識するようになるこの年代では、一過性に神経症（ノイローゼ）的な状態になることは珍しくなく、これが本格的な精神病の兆候なのかどうかは慎重に見きわめる必要がある。

臨床医学は病的側面に着目して症状を同定し、正しい診断をして最適な治療を実践する営みである。一方、ふだん私が大学で会う学生は、本人は相当に悩み、学生生活に実際何らかの支障を来たして相談に来るが、精神疾患の診断が必ずしもつくわけではない。こうしたサブクリニカルな状態の若者たちは、医学的な介入（薬物治療など）をせずとも、寄り添って話を聴いていると自ら立ち直っていくことが少なくない。流行りの言葉でいえば「レジリエンス」である。ここには病に発展するのとは逆のこころの可能性（「可塑性」というより、さらなる成長・発展が期待できるという意味で「可能性」と言いたい）があり、日々の仕事においてこれを目の当たりにできるのは精神科医という仕事の役得だと思う。精神医学のみならず、心理学や脳科学はこころの可能性のメカニズムを探求する学問分野とも言えるだろう。

このコラムを書くにあたり、著されてから70年経つ「人格の病」をあらためて読み、人間のこころの可能性をもっと知りたいとの思いを新たにできたのは収穫だった。

2019年度 第2学期

10 October

月	火	水	木	金	土	日
*	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	*	*	*

11 November

月	火	水	木	金	土	日
*	*	*	*	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	*

12 December

月	火	水	木	金	土	日
*	*	*	*	*	*	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	*	*	*	*	*

1 January







月	火	水	木	金	土	日
*	*	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	*	*

2 February

月	火	水	木	金	土	日
*	*	*	*	*	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	*

3 March

月	火	水	木	金	土	日
*	*	*	*	*	*	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	*	*	*	*	*

	閉所(月曜、祝日、学長又はセンター所長が 定めた日)		単位認定試験 (大学院・学部)	1/21~30
	面接授業	10/19~2/2		教員免許更新 講習試験
	入学者の集い	10/6		図書・視聴学習室 のみ閉室
				12/28、1/5、3/25・26

開所時間 ※1

	センター	図書・視聴学習室	事務室※2
通常期間 火～日	9:30～18:00		9:30～12:00 13:00～18:00
単位認定試験期間(大学院・学部)	8:30～19:00	9:30～18:30	9:00～12:00 12:45～19:00

※1 規則等の改正により、開所・閉所日及び時間は、年度の途中でも変更になることがあります。

詳しくは学習センターの掲示板またはセンターホームページをご覧ください。

※2 申請等の受付を事務室閉室時間終了の30分前までとするもの

・印刷教材等販売 ・学研災加入 ・学生証再発行 ・各種証明書、学割証の当日発行 ・面接授業追加登録

学生生活を快適に過ごすために “学生アイテム”を活用しよう

●学生証

入学許可書または有効期限切れの学生証を持って、所属する学習センターで学生証の交付を受けましょう。(原則、窓口で本人確認の上、交付します。必ず学生本人が受け取りに来てください。)東京渋谷学習センターの学生専用エリアに入る際は、カードリーダーに学生証をとおす必要があります。東京国立近代美術館など6つの美術館で学生証を提示すると、所蔵作品展を無料で、特別展と共催展を割引料金で利用することができます。



●学生専用のwebサービス

【システムWAKABA(教務情報システム)】

大学からのお知らせや自分の履修・成績などの情報閲覧、科目登録などの申請手続、インターネット配信による授業聴講などの学習が行えます。



【学生メール(Gmail)】

Webブラウザを利用したメールシステム。学生専用のメールアドレスに、大学本部や学習センターからのお知らせ等が届きます。



!! システムWAKABA、学生メールの利用時には、共通のログイン画面が起動します !!

・ログインID: 学生番号10桁 ・パスワード: 初期パスワード (いずれも入学許可書に記載されています)
ご不明な場合は、総合受付 043-276-5111 へお問い合わせください。

●学生生活の葉

学生生活における必要な情報が網羅されています。学生さんから寄せられるお問い合わせのほとんどは、この葉をご覧になると解決します。お問い合わせのためにかけた電話が繋がらないと嘆く前に、一度冊子を開いてみてください。案外、あっさり解決しますよ。巻末には、手続きに必要な様式も掲載されています。



●東京渋谷学習センターホームページ <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/shibuya/> 学習センター利用の手引き



東京渋谷学習センターのカレンダー、利用時間、利用方法等を掲載しています。ホームページでは講演会等のお知らせも随時更新しますので、定期的に確認してみてください。せっかく来たのにセンターが閉所していた、ということのないよう事務室、図書・視聴学習室の利用時間等をご確認の上、ご来所ください。

	センター 図書・視聴学習室※1	事務室※2
* 通常期間 (火～日)	9:30～18:00	9:30～12:00 13:00～18:00

※1) 文献複写の申込み・受渡しは17:30まで。

※2) 各種申請等の受付は事務室開室時間の終了30分前まで。

・印刷教材等販売 ・学研災加入 ・学生証再発行
・各種証明書、学割証の当日発行 ・面接授業追加登録

2019 年度第2学期

面接授業科目の 追加登録について

科目登録状況により定員に満たなかった面接授業科目については、その科目を開設している学習センターで追加登録を受け付けます。

空席状況を、10月19日(土)12時から、各学習センターでの掲示、システムWAKABAでお知らせします。

10月25日(金)15時以降はシステムWAKABAで空席状況をリアルタイムで確認することができます。

なお、科目登録方法は、その面接授業を開設している学習センターにより異なりますので、**具体的な受付方法については、それぞれの学習センターにお問い合わせください**

東京渋谷学習センターで開講している面接授業科目の 追加登録の方法は次のとおりです

A. 窓口 10月25日(金)より登録開始

受付初日の25日に限り、午前10時までに追加登録抽選会場に入室した方を対象に、**登録する順番を決める抽選**を以下の①～③の手順で行ないます。
申請の際には学生証と授業料が必要となりますので、忘れずにお持ちください。

- ① 25日9時30分に抽選会場を開場し、同10時に抽選会場の入場を締め切ります。
- ② 入場された方から学生証をお預かりし、抽選を行ないます。(30分程度)
- ③ その抽選により決まった順に学習センター窓口にて、面接授業科目追加登録申請書を提出、授業料をその場で現金で納入していただきます。

※ 窓口での随時登録受付はこの抽選会の終了後より先着順に開始し、科目ごとに定められた受付期限まで行います。

B. 郵送 10月19日(土)より受取開始(登録開始は26日から)

空席状況の発表後から、郵送での申請用紙と授業料の受け取りを開始します。

●面接授業科目追加登録申請書 ●所定の授業料

●学生証のコピー ●返信用封筒(宛先を記載、84円分の切手を貼付)

以上4点すべてを同封の上、現金書留により学習センターまでお送りください。

ただし、19日から登録初日(10月25日)までに到着したものはお預かりのみとし、10月26日に開封、空席があれば登録を行ないます。

期限内に郵便が届かなかった場合、申請した科目がすでに満席の場合、登録内容に不備がある場合は返送にかかる費用を差し引いた金額をお返しいたします。ご了承ください。